

山形

いぶき

vol.164

令和6年1月

YNA 夢・ナースング・愛



米沢市立病院



この度、地域医療連携推進法人「よねざわヘルスケアネット」を設立し、三友堂病院と米沢市立病院の新病院が令和5年11月1日に開院しました。互いに独立性を持ち連携するのは全国的にも初の試みです。急性期医療を担う当院では、24時間365日救急医療を行うため手術室・集中治療センター・患者サポートセンター・夜間休日診療所を併設した救急室の充実を図っております。地域の抱える課題に対し、医療の機能分化と連携を図り、地域住民のニーズに沿った良質な医療が提供できるよう職員一丸となり努めてまいります。

副院長兼看護部長 中嶋 恵子



一般財団法人 三友堂病院



三友堂病院は、回復期・慢性期医療に特化した病院として、新たな診療を開始いたしました。回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟を有するほか、慢性期・維持期の透析や健診等の保健予防活動にも力を入れております。「信頼と融和で築こうよい病院」の法人理念のもと、多職種と共に真のチーム医療を実践し、患者さんが地域社会の中で質の高い暮らしができるよう、最良の医療、看護の提供に努めてまいります。

看護部長 那須 和子

TOPICS

- [P.2] 令和6年 新年のご挨拶
- [P.3] 支部の活動状況
- [P.4] 保健師職能だより、災害支援ナースについて
- [P.5] セカンドレベルを受講して、「いのちの教育」研修会を終えて
- [P.6.7] 新春企画「看護職として働く親子・兄弟姉妹・夫婦を紹介」、新春お年玉企画
- [P.8.9] 看護の業務改善in山形、山形県看護研究学会、医療安全山形フォーラム
- [P.10.11] ナースセンターだより
- [P.12] わたしの自慢、理事会等報告、インフォメーション

2024年度日本看護協会 通常総会・全国職能別交流集会

- 期 日：2024年6月6日(木)・7日(金)
- 会 場：東京国際フォーラム(東京都)

2024年度山形県看護協会通常総会

- 期 日：2024年6月14日(金)
- 会 場：山形県看護協会会館



(山形県かみちゃん)

令和5年度 会員数(1月現在)

保 健 師	336
助 産 師	372
看 護 師	7,121
准 看 護 師	124
計	7,953



公益社団法人 山形県看護協会

ホームページ
www.nurse-yamagata.or.jp

山形県看護協会



山形県看護協会
LINE公式
アカウント



令和6年 新年のご挨拶

辰年 変化を捉え、未来を拓く年に！

公益社団法人山形県看護協会 会長 若月 裕子



新年あけましておめでとうございます。

最初に、元日に発生しました令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された多くの皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

未だ安否不明の搜索が続き、孤立している集落やライフラインが確保されない状況に自然災害の恐ろしさ、どこでも、いつでも起こるかもしれないと実感しております。

日本看護協会危機管理対策本部では、県看護協会、厚生労働省と連絡を取り合い、1月5日から災害支援ナースの派遣を開始し、27都道府県より連日88名の災害支援ナースが石川県で活動しています。現在、山形県には災害支援ナースの派遣要請はありません。

その他、県内のDMAT、DPAT、日本赤十字救護班、保健師、所属協議会など要請を受け被災地域で支援活動に尽力されている看護職の皆さまに心から敬意を表します。

さて、昨年5月8日より新型コロナウイルス感染症が5類となり日常が戻りつつあります。しかし、看護職は常に感染対策を行いながら多忙な業務に奮闘する日々が続いており、改めてすべての看護職の皆さまに敬意を表するとともに感謝申し上げます。国や県では、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある新興・再興感染症の発生及びまん延に備えるため、病床・外来医療の確保、保健所や検査体制の強化等の準備を行っています。

また、地域包括ケアシステムには、看護職の専門性を発揮し活躍できるよう、病棟・外来・退院支援部門の人材の育成と地域他職種連携が必須です。そこで、2023年度は、退院支援に関する研修を3回シリーズで開催し、グループワークの中で地域によって課題が異なることがわかりました。2024年度は、庄内、最上、村山、置賜の4地域において、宇都宮宏子先生を講師とした在宅療養移行支援研修を企画しています。“どんな状況でも、この地域で最期まで暮らしたい”の方々に支援する方法についてスキルアップし、看護職としての専門性を発揮できることを期待しています。

本年の干支は「甲辰(きのえ・たつ)」すべてに光が当てられ、大きく変化していく年とし、今まで頑張ってきた“努力が認められる、気づかない才能が開花する”明るい兆しがあります。

今年も皆さんと共に、健康で充実した1年を過ごせることを祈念して、年頭のご挨拶したいと思います。皆で力を合わせ、変化を捉え、未来を拓く1年としていきましょう。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度看護協会入会受付中！

令和6年度看護協会ご入会を随時受付しております。

入会等手続きにつきましては、右記QRコードまたは当協会ホームページをご覧ください。

また、会費納入方法を「口座振替」にされている方は、令和6年度会費から、初回口座振替日が2月27日(火)に変更になりますのでよろしくお願いいたします。



入会案内はこちら

令和5年度会館建設積立金納入状況(令和5年12月31日現在)

納入人数	金額	満額納入者
2,788名	13,861,000円	323名

皆様の多大なご協力ありがとうございます。
今後ともよろしくお願いいたします。



支部の活動状況



(山形県かんどちゃん)

最北支部

地域包括ケアと看護師の役割について学ぶ

最北支部 教育委員 高山富美子



最北支部では、残暑厳しいなか 9月15日に支部研修会を開催いたしました。コロナ感染流行から初の対面での開催となり、41名の会員の皆様と研修を行うことができました。

第一部は若月裕子会長より「地域包括ケアシステムの中でつなげよう看護機能」と題して講演いただきました。看護師時代の実体験を交えての講義内容で大変興味深く聴講しました。また、地域包括システムの理解を深め、退院支援の重要性を学ぶことができました。

第二部はケアプランナー東根 社会福祉士 菅 東洋氏による「地域の個別支援の実践から包括ケアを考える」と題して講演いただきました。社会福祉士と地域との関わりについて学ぶことができました。特に、独居の方の入院が増える中、入院から退院まで誰に相談したらよいか等の質問が聞かれ、対応に困るケースが増えてきており、多くのアドバイスを受けることができました。参加者も地域のマンパワーについて心強く感じたところでした。

また、対面での開催で地域の看護、介護スタッフと3年ぶりに交流することができました。令和6年2月には新人看護職員交流会を予定しております。



久しぶりの対面開催

庄内支部

地域包括ケアシステム構築に向けて

庄内支部長 中村 美穂



庄内支部では、令和5年度の研修会を感染防止対策を講じ9月16日に参集型で開催し、250名を超える方々にご参加いただきました。第一部では若月裕子会長より「地域包括ケアシステムの中でつなげよう看護機能」と題して講演をいただき、第二部では、「コロナ禍を経ての今一お互いの看護職の活動を知る一」をテーマに、庄内保健所地域保健主幹 阿部浩子氏、日本海総合病院看護部長 佐藤由紀氏、医療法人社団みつわ会総看護師長 高橋勝江氏、訪問看護ステーションにこそ長 川俣沙織氏よりそれぞれで講演いただき、地域包括支援システム構築へ向け、さらなる連携強化の第一歩となる研修会を企画しました。今回、次世代の担い手となる鶴岡市立荘内看護専門学校、酒田市立酒田看護専門学校より100名の学生が授業の一貫として参加したことも今までにない新しい取り組みでした。

令和6年2月は、新人研修会を参集型で開催します。「つなごう新人の輪～とも(友)に学び、とも(共)に育つ～」をテーマに、新人同士が交流を深め、2年目へステップアップできる交流会を企画しています。

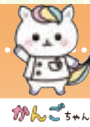
今年度の「まちの保健室」は、鶴岡市主催の健康づくり協調月間オープニングイベントとノルディックウォークに参加し、血圧測定・体組成測定や健康相談を行い、昨年度以上に地域の皆様と交流を深めることができました。

今後も、研修会や「まちの保健室」の活動を中心に、会員の皆様や地域の皆様に貢献できる活動を行っていきます。



看護学生も参加しての研修

保健師 職能だより



地域で働く保健師の魅力～自治体保健師に聞いてみよう～ 自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベントに参加して

保健師職能委員長 加藤 明子

山形県看護協会会館において、12月2日に「地域で働く保健師の魅力発信のためのイベント」が参加者14名を迎えて開催されました。

第一部はWeb配信で、様々な場所で活躍する自治体保健師からの講演でした。県の保健師は、「県全体として健康づくり計画等を推進する広域的なネットワークづくり」、市町村の保健師は、「乳幼児から高齢者まで、住民の声を事業化していく」、へき地の保健師は、「住民が暮らしたい場所で暮らし続けられるよう、役場以外の人とも連携しながら柔軟に対応する魅力がある」こと等の話がありました。

第二部は、山形市、最上町、鶴岡市のお仕事相談ブースとなんでも相談ブースに分かれて保健師職能委員7人が相談に応じました。参加者は、保健師資格取得後は看護師経験をしてから就職したほうが良いのかなど、積極的に質問をしていました。宮城県看護協会では開催がないため、宮城県から参加した方もおり、保健師への熱意を感じました。

人の人生に寄り添う命を守る仕事が保健師であり、トラベルビーの「人間対人間の看護」を思い出し、この魅力ある仕事を多くの人に知ってもらいたいと思いました。



相談ブースで積極的に質問

災害支援ナースとして
一緒に活動しませんか？

地域の災害は私たちが支える

災害看護対策委員長 後藤 敬仁

皆さんは災害支援ナースをご存じでしょうか。災害支援ナースは被災地に出向き、応急救護所や医療機関では看護職のサポートを、避難所では避難者の心身の健康の維持のため看護を提供するという役割を担い、自己完結型を基本として活動します。

近年自然災害が多発していますが、その中でも豪雨災害は毎年発生し、山形県も例外ではありません。記憶に新しい令和4年8月の豪雨では、避難所開設数74箇所、最大避難者数は2,401人となりました。大規模災害発生時には、災害規模に応じてレベル1～3の区分で派遣調整が行われます。レベル1の「単独支援」、つまり山形県のみで対応するには最低でも100人の災害支援ナースが必要とされています。今回から登録条件に変更があったこともあり、残念ながら山形県では現在登録数が昨年の91人から53人まで減少している現状です。

「災害の時に何か力になりたい」と思っている方も、様々な事情で災害支援ナースの登録を躊躇している方はいらっしゃいませんか。災害支援ナースは決して被災地での派遣活動だけが役割ではありません。派遣活動に行く災害支援ナースのため、自分の所属施設を守ることや、派遣から戻った災害支援ナースのメンタル面のフォローができるなど、後方支援することも災害支援ナースの重要な役割です。「思い」があれば誰でも参加できます。ぜひ私たちと一緒に活動してみませんか？



随時情報を更新して参りますので、山形県看護協会ホームページをチェックしてみてください。

認定看護管理者 教育課程 セカンドレベルを 受講して

山形市立病院済生館 柴田 恵

私は、看護師長として先輩方からの指導のもと、自分なりに看護管理を実践してきました。しかし、自身の管理方法に自信が持てず、自問自答する日々でした。研修は上司の勧めもあり、自身の問題解決の糸口となる良い機会と判断し受講を決断しました。事前課題は、安全管理を通して「人材育成」「看護の質管理」などに取り組むことを目的としました。

不安の中始まった研修は、終わってみれば大変楽しいものでした。日々の業務との両立は苦しくもありましたが、それ以上に同じ苦悩を共有し、共感しあえる仲間がいることに助けられました。多様な地域、施設から参

加された方々と話すことは、様々な立場での考え方を知り、一人では解決困難なこともディスカッションすることで、解決できたことが沢山ありました。また5つの教科目の講義は、暗黙知と理論のすり合わせとなり、自分の看護実践が概念化され、自己肯定感が養われ自信に繋がりました。今後、自部署の課題解決に向けて、スタッフと話し合い、学びあい、認め合うことの大切さを学ぶことができました。

最後に、2040年に到来する超高齢化社会へ向け、時代に合わせて看護も変化し続けることが大切とされ

ています。看護管理者として、多様性、WLB、医療DXなどの社会の変化に向き合い、「人」「物」「金」「情報」「時間」を駆使し、自分が求める「あるべき姿」の実現に向け、次の世代に繋いでいける看護管理に取り組んでいきたいと思っています。



令和5年度セカンドレベル受講者の皆さん



(山形県かんちゃん)

「いのちの教育」研修会を終えて

いのちの教育推進委員長 城戸友香李

10月6日に立教大学名誉教授の浅井春夫先生から「乳幼児期からのいのちの教育」と天童市民病院の結城けい子先生から「出前授業の流れ」についてご講義をいただきました。

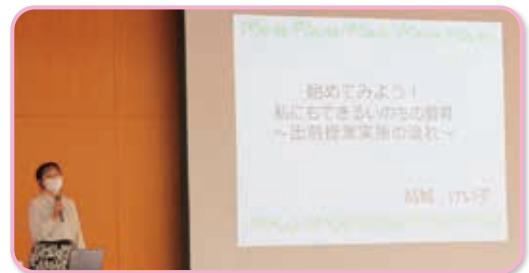
午前の浅井先生の講義では、乳幼児期から自分の体を知る大切さや事実を伝えることの重要性を教えてくださいました。そこから、優しさや想像力へつながり、自分で判断することができるようになり、自分のいのちの大切さと向き合うことができると気付かされました。

午後の結城先生の講義では、出前授業のご経験を通じて、自分の強みを生かした出前授業の方法を教えてください、これから出前授業を始める方やいのちの教育に興味や関心がある方への学びの機会となりました。

子供達にいのちの大切さを伝えるには皆さんの力が必要です。現在も性の健康支援ネットワーク会員を募集しています。会員となる前に出前授業の見学をすることもできます。ぜひ、興味がある方は山形県看護協会にお問い合わせください。



浅井先生の講義



結城先生の講義

性の健康支援
ネットワーク 会員募集中!

お互いに一言

新春企画

看護職として働く

親子、兄弟姉妹、夫婦を紹介



兄弟 山形大学医学部附属病院 看護師 菊池 将太

兄妹3人看護師で同じ職場で働いています。姉は、リーダーシップがあり、ここぞという時に凄く頼りになります。妹は周りとは少し違う観点から見ているような感じで、客観的に物事を捉えつつもユーモアたっぷりです。2人とふとした時に会えると照れくさくも楽しく働いています。一緒に働けることが嬉しい気持ちもあり、心の底から安心できるそんな自慢のきょうだい。これから辛い時も仲良く明るい職場と明るい家庭を築き上げていこう。

姉 山形大学医学部附属病院 看護師 今田 里菜

弟は、仕事と大学院との両立で、大変な中でも家族の事を一番に考えて行動できる心優しいところがあり、とても頼りにしています。妹は、姉と兄の事をよく見ており、様々な視点からの確かな意見を言ってくれるような存在です。きょうだい3人で同じ職場で働いているからこそ、共通の話題で話ができたり、悩み事も解決できるなと思っています。時間があるときは3人でご飯に行ったり、買い物に行ったり今まで通り仲良く過ごしていこうね!

妹 山形大学医学部附属病院 看護師 菊池 香菜

姉は太陽のように明るく責任感が強いです。大切な局面で私たち兄妹を引っ張ってくれて、弟と妹は頼りにしています。兄はユーモアの塊で、人を笑顔にしたい気持ちいっぱい心優しい兄です。大学院と仕事、家庭の多忙な中ですが、志高く頑張る姿が素晴らしいと思っています。大変な時も兄弟姉妹の存在に救われたことがたくさんありました。自分の事のように心配してくれる優しさに妹は感謝が止まりません。



親 山形県立中央病院 看護師 安達 知美

忙しい病棟ながらも充実して過ごせているようでとても嬉しいです。これからも2人でたくさん話していければと思っています。周りに感謝と優しさを忘れず、自分らしさを大切に成長していってね。

子 山形県立中央病院 看護師 安達なつみ

いつも良き理解者でいてくれてありがとう。どんなに大変でも辛くてもちゃんと頑張ってるのは、お母さんがそばで支えになってくれているおかげです。まだまだ私は頼りなくて自分の事で精一杯だけど、いつか私も頼もしい存在になれるように頑張るのでしっかり見ていてください!



夫 山形市立病院済生館 看護師 丹野 邦彦

お互い看護師としての仕事に、相手の気持ちを理解し過ぎて我慢してきた事も沢山あったと思います。そんな中でも、夜勤をしながらの家事・子育て、本当に感謝していますし、尊敬しています。出会った頃のお洒落な貴女も勿論好きですが、毎朝見る無防備な寝顔の方がずっと愛おしいと感じるこの頃です。これからも共に歳を重ねて、新しい貴女をたくさん見せてください。これから先も二人の思い出を増やしていきたいです。

妻 山形市立病院済生館 看護師 丹野 ルミ

結婚して25年、仕事をしながら出産・育児と二人で頑張ってきましたね。同じ看護師として分かり合えることが多く、アドバイスを受けたら何でも話し合えることができました。特にコロナ禍は本当に大変で何とか乗り越えることができました。年齢的にも厳しくなってきましたが、お互いに身体を労わりながらゆっくり過ごしていきたいです。



親 山形県立新庄病院 看護師 鈴木 陽子

娘から看護師になりたいと聞いた時、この子には絶対無理だろうと夫婦で何度も反対したのを覚えています。でも彼女の意思が強く、遠く離れた学校で勉強して頑張って資格取得してくれました。私より仕事に向き合う姿勢がしっかりしているし、むしろ楽しんでるように見えます。仕事で疲れてくじけそうな時に話を聞いてくれたり、あなたの存在に何度も助けられています。いつもありがとう。これからもよろしくね。

子 山形県立新庄病院 看護師 伊藤 香菜

母に憧れて看護師を目指し、現在同じ病院で働いて3年になります。高校生の時、看護師になるのを反対され、逆に意地でもなりたいと思い勉強しました。いつも見ていた地元の病院に就職を決め、親と同じ職種であることにプレッシャーを感じる時もありました。今は苦楽を共にできる上司でもあります。いつも元気で笑顔で人と関わる母は今も憧れの看護師であり、尊敬できる母です。



姉 米沢市立病院 看護師 鈴木奈都代

看護職として同じ病院で働いていることはすごいことだと思います。あなたが新人の頃は、自分のことより失敗しないか、いつもドキドキしていました。助産師として、母子二人の命を預かり、日々頑張っている姿に姉として誇りに思うとともに尊敬しています。現在は小児科を担当していますが、助産師としての知識・経験を看護に活かしていることでしょうか。これからも、励まし合い、たまに愚痴を言いながら、お互いの役割を発揮し頑張っていきたいです。

妹 米沢市立病院 助産師 須貝真基子

私たちは普段から「なっちゃん」「まきちゃん」と名前呼び合う友達のような姉妹です。私が両親を自宅で看取りたいと言った時、姉の助言や支援があったおかげで最期まで看取ることができました。私の中では、両親が他界してから姉妹の絆がより一層強くなった気がします。また、在宅での看取りを通して、『気持ちに寄り添う看護』を大切にしている姉の看護観を感じることができました。姉を見習い、お互いに励まし合って頑張っていきたいです。



親 日本海酒田リハビリテーション病院 看護師 金内 洋子

祖母を亡くし元気のない祖父の姿を見て実家に帰って来てくれました。翔のおかげで祖父に笑顔が戻りました。ありがとう。家族が大好きな翔だから、あなたの看護観「患者だけでなくその家族にも寄り添いたい」という看護師に近づけると信じています。

子 日本海総合病院 看護師 金内 翔

人のため命のために働く母の姿を見て看護師を志しました。看護師として働く今、改めて自慢の母であると感じています。これからも体に気を付けて家族の時間を大切にしていきたいです。

あけおめ2024年! 新春お年玉企画!

会員の方へちょっと遅めの新春お年玉企画! クイズと感想に回答してくださった方から抽選で9名様にプレゼントを差し上げます。

プレゼントは届いてからのお楽しみ!

【応募締切】2月29日(木)

※当選者は商品の発送をもって代えさせていただきます。
※ご入力いただきました個人情報は商品発送にのみ使用し他への転用はいたしません。

★★★★ めでたいで賞: 1名
★★★★ すごいで賞: 2名
★★★ やったで賞: 2名
★ いいで賞: 4名

QRコードからご応募ください。



(山形県かんちゃん)



かんちゃん

事例発表会&表彰式を開催しました

山形県看護協会が2回目となります「看護の業務改善in山形」を、12月2日(土)Webで開催し、各施設で行っている業務改善の取り組み事例の発表と表彰式を行いました。
受賞されました各病院へ、講評者よりメッセージと賞状・記念品が贈られました。

Goodチームワーク賞

【業務改善部門】
「看護師の夜勤軽減に向けた取り組み」

町立真室川病院 今田ルミ子氏

講評者コメント 松田真理子(山形県健康福祉部地域医療支援課)

この取り組みは、夜間帯に「ナースコールから解放される時間」を設けているもので、貴重な休憩時間の確保につながります。また、ルールにすることで、スタッフも割り切ることができます。

ひと昔前の夜勤を思い出してみると、消灯後の病棟は静かになり、日中とは違うゆったりした時間が流れていた記憶がありますが、現在は違います。患者さんの高齢化に伴い、夜間帯の業務負担が大きくなっているのは明らかです。

この取り組みを根気強く続けていただき、他施設にも広がっていくことを期待しております。



ユニフォームの色分けで勤務表がみえるシンプルisベスト賞

【業務改善部門】
「真摯に、そして楽しんで看護に向き合える環境を目指して」

みゆき会病院 渡邊 修氏

講評者コメント 若月 裕子(山形県看護協会会長)



日勤・夜勤でユニフォームの色分することで、職員本人の定時終了の意識を高め、誰からもひと目で勤務時間が残業かがわかるという取り組みの結果、残業時間が1/2となりました。シンプルな方法でありながら大きな変革をもたらす結果となり、とても素晴らしいです。

他にも、2交代、3交代の選べる勤務の拡大、仮眠の睡眠環境を今風でかつ科学的に変え、職員の一人ひとりの思いをしっかり受け止め、働き続けられる環境づくりが重要ですね。

今後も、職員のモチベーションをアップし、確保・定着の取り組みに期待ができます。

みなさんの連携が患者様をホットと安心させるで賞

【AI・ICT等の技術の活用部門】
「ICTを利用した多職種連携」

公立置賜長井病院 椎名 直子氏

講評者コメント 平山 達也(山形県社会保険労務士会)

一見すると病院スタッフの業務効率化の視点から検討されたように思えるのですが、その本質は「退院した患者が住み慣れた地域で生活ができるために」、「その人が最後まで住み慣れた場所で暮らしていくために」と目的に謳われているとおり、患者を置き去りにすることなく患者ファーストで取り組まれている点、情報共有の手段として新しいシステムを作るのではなく既存のシステムを活用されている点が特に素晴らしいと感じました。



看護の業務改善 in 山形



勤務環境改善推進委員長 阿部さゆり



Win-Winでケアの向上につなぐで賞

【AI・ICT等の技術の活用部門】

「ケアの向上を目指したポータブルエコーの導入」

公益社団法人山形県看護協会 訪問看護ステーションやまがた 山川 一枝氏



講評者コメント 奥本 和枝(勤務環境改善推進委員)

病気が障害があってもできる限り住み慣れた自宅で過ごしたいということが在宅看護を利用する方の希望だと思います。そして自宅で専門的なケアを受けられる、それは利用者さんや支える家族の方にとって大きな安心につながると言えます。

ポータブルエコーは看護師が実施しても加算対象とはなりません。が、このようにエコーを使用することで、利用者さんに侵襲なく、また医療職間で情報を共有できることはケアの向上につながっていると思います。今回の事例は利用者さんにとって希望がかなえられたうれしい瞬間だったことでしょう。

今後もエコーの活用により在宅ケアの充実を図っていただき、利用者さんの支えになることを願います。



施設で一致団結！素晴らしいで賞

【タスクシフト・多職種連携部門】

「チームで取り組んだ業務改善・タスクシフト」

矢吹病院 川合由美子氏

講評者コメント 阿部 さゆり(勤務環境改善推進委員長)

医療法人社団清永会 矢吹病院では、2018年から病院長をはじめ多職種が一丸となって看護師が本来の業務を行えるよう業務改善に取り組んでいることがわかりました。発表にあったように、臨床工学士・薬剤科・検査科・栄養科・クラークと多職種との連携、また病棟と手術室・透析室・外来との看看連携を図り、看護部の業務改善に取り組まれ、医療従事者にとって勤務負担の軽減、働きがいの向上、患者にとって質の高い医療の提供、経営にとってコストの適正化・経営の質の向上という勤務環境改善マネジメントシステムの流れに沿って実行できていると言えます。

最後に、今回発表のスライドの言葉、これまで当たり前に行っていた習慣を一つひとつ見直し、新しい価値観を持って変革にチャレンジし続けるという言葉は、どの施設にも響く言葉ではないでしょうか。

病院で一丸となって取り組む姿勢をリスペクトし、表彰名を決めました。

今後、患者の高齢化・透析患者の増加が予測される中で、PDCAサイクルにより専門職の集団として働きやすい職場づくりとともに看護の質の向上に向けての取り組みを期待します。



受賞しました各病院の取り組み事例は、山形県看護協会ホームページをご覧ください。



(山形県かんごちゃん)

山形県看護研究学会

「新たな時代に向けた看護のステージアップへ」を終えて

学会委員長 武田 洋子

今年度の山形県看護研究学会は、11月16日に日本精神科看護協会山形県支部と共に行われ、盛況のうちに閉会することができました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

一般演題では17題の口演発表が行われ、対象者のニーズや新たな取り組みが見出され、成果が検討されていました。これらの知見を多施設で導入したら看護の質が向上するのではないかと考えられました。

特別講演は、京都大学大学院人間・環境学研究科研究員の佐藤泰子先生をお招きして「妖怪人間ベムは永遠に笑わないー生きる意味は間(あわい)にー」と題してご講演をいただきました。ケアを言語化するための問い、人はいつか死を迎えるからこそ「今、ここ」に向き合い寄り添い合う援助関係の形成など、先生のトーク力も相まって楽しい時間と叡智を参加者皆で共有することができました。

次年度の学会も多くの皆様にご参加いただけますよう、心よりお待ちしております。



佐藤泰子先生の特別講演

「第14回医療安全やまがたフォーラム」を終えて

医療・看護安全対策委員長 児玉 良太

医療安全やまがたフォーラムは、医師会・歯科医師会・薬剤師会・臨床工学技士会・看護協会の5団体で毎年開催しています。今年度は12月9日に看護協会の企画運営にて「医療の中でのハラスメント～心理的安全性について～」というテーマで、株式会社TMC経営支援センターの新保健二先生より講演をいただきました。講演はZoomでのオンライン配信で、具体的な事例を踏まえて様々なハラスメントやその対応についてお話いただきました。パワハラにならない指導のポイントやハラスメントになりうる言動や行動など、すぐに活用できる内容でとても有意義な講演でした。医療の現場は忙しさや対人関係のストレス、ミスが許されないことなど緊張を強いられる環境であり、ハラスメントが起こりやすい環境です。誰もが安心して働くことが出来る環境を作ることが安全な医療の提供に繋がります。お互いに敬意を持ち、人格を尊重して安心して働きやすい環境を作っていきましょう。



新保健二先生の講演

山形県 ヨナースセンターだより

(山形県かんこちゃん)

Topics

- 1.「労働条件明示」のルール変更
- 2.マイナンバー制度による看護職キャリア支援
- 3.看護師等の届出制度
- 4.事業のご報告と予定

【重要!!】来年度から、はじまります!

◆「労働条件明示」のルール変更

「労働基準法施行規則」「有期労働契約の締結、更新及び雇止めに関する基準」の改正に伴って、**令和6年度4月から**、労働契約の締結・更新のタイミングの「労働条件明示」事項が追加されます。

対象	明示事項
全ての労働者	●就業場所・業務の変更の範囲 雇入れ直後の就業場所・業務の内容に加え、これらの「変更の範囲」※について ※「変更の範囲」とは、将来の配置転換などによって変わり得る就業場所・業務の範囲 明示のタイミング ・全ての労働契約の締結時 ・有期労働契約の更新時
有期契約労働者	●更新上限の有無と内容 通算契約期間または更新回数の上限について 明示のタイミング ・有期労働契約の締結時 ・有期労働契約の更新時 ●無期転換申込機会・転換後の労働条件 無期転換を申し込むことができる旨、および無期転換後の労働条件について 明示のタイミング ・「無期転換申込権」が発生する更新時

*** 求人票・労働条件通知書に必ず明示しましょう。**

詳しい情報は「厚生労働省」ホームページをご確認ください

◆マイナンバー制度活用による看護職キャリア支援

令和6年度より、看護職を含む22種類の医療関係資格情報について、マイナンバー制度を活用します。

看護職自身のキャリア情報が、厚生労働省の「看護職キャリアデータベース」へ登録されます。このデータベースの情報は、政府が運営するオンラインサービス「マイナポータル」を通じて確認することができます。

～「マイナポータル」でできること～

- ◎自身の資格情報の確認
- ◎随時、情報の追加・変更登録

※令和6年度中に、キャリア情報の確認や、研修受講歴の管理・閲覧できるサービスの提供を目指しています。

さらに…

就職相談／求職登録／離職届提出時などに、看護職キャリア情報の提供について、看護職本人が提供を同意すると、都道府県ナースセンターによる就労や情報提供の支援が受けられます。

～ナースセンターからの支援でできること～

- ◎離職時、キャリア情報に基づく復職支援等
- ◎就業時、キャリア情報に基づく資質向上やスキルアップに繋がる情報提供

「看護師業務・求人面談会」開催!

看護職の働き方の理解を深め、再就業に向けた情報収集の場を提供するため、11月29日に「看護師業務・求人面談会」をハローワークやまがたで開催しました。

今回は、「診療所」のみの求人面談会を企画してみました! 診療所は、ほとんどが日勤勤務の求人のため、再就業を目指す看護職の就業希望が多い求人施設です。診療科目はもとより、クリニックによって業務内容も異なるため、クリニックの採用担当者と求職者が直接お話しできる機会となりました。

面談会当日は、4つの求人クリニックにブース出展していただき、8名の求職者が参加されました。

求職者の方は、1ブース約20分の面談時間で、採用情報や業務内容などの職場説明を個別に聞きました。自分が知りたいことの答えがダイレクトに届くことによって、不安や疑問が解消され、十分に理解でき、満足へと繋がったようでした。

山形県ナースセンターは、ハローワークやまがたと協力・連携して、看護職の皆様へ就業支援をしています。

クリニックの採用担当者の方々は、パンフレットやPCなど、それぞれの方法で求職者へ説明とPRをされていました。直接、求職者とお話することで、求職者が求めていることや就業する上での着眼点を知る機会となった、という声もありました。

個別だからこそ、近い距離間で穏やかな時間を共有でき、「お互い」に収穫を得ることができたのではないかと思います。

今後も、職場復帰や再就業のための情報収集の場を提供できるよう、求人説明会の企画をしていきます! 看護職は、ライフステージが変わっても働き続けられる職種です。ご自身の生活スタイルに合う求人を見つけるためにも、こうした機会をマッチングにご活用いただければと思います。



看護の仕事相談会 *情報コーナー*

県内8カ所のハローワークで開催しています。看護職、または看護職を目指す方、看護職をお探しの求人施設のご相談に応じます。

相談時間	10:00～12:00 13:00～15:00	1月	2月	3月
やまがた		15(月)	2(金)	1(金)
寒河江		10(水)	7(水)	6(水)
村山		29(月)	26(月)	25(月)
新庄		23(火)	20(火)	19(火)
鶴岡		12(金)	9(金)	13(水)
酒田		11(木)	8(木)	14(木)
長井		18(木)	15(木)	21(木)
米沢		25(木)	面談会参加 16(金)	28(木)

※この相談会は雇用保険受給者の求職活動に該当します。
※マザーズジョブサポートでの相談会は開催しません。

開催予定イベント

開催日は予定です。
変更になる場合があります。

日時	イベント概要
3月初旬	求人セミナー(仮) 求人を検討する際の参考に! 【内容】 ○求人票作成方法○PR方法 ○求職者の現状 【方法】 Zoomによるオンライン開催 【時間】 未定(午後)
3月19日(火)	eラーニングを活用した復職支援研修 ★今年度最終締め切り★ 最新の看護の動向や基本的な知識・技術を、自分のペースで学習できます。 【1月～3月申込】各月19日まで ＊お申込みは随時受け付けています。 ＊受講希望の方はお早め!

山形県ナースセンター公式 LINE

チャットでの相談・問い合わせにも対応しております!
お気軽にご利用ください(^^)

お友だち登録はこちらから▶



山形県ナースセンター

〒990-2473 山形市松栄1丁目5番45号

TEL: 023-646-8878

FAX: 023-643-5727

Mail: yamagata@nurse-center.net



「看護師等の人材確保の促進に関する法律」により、看護職は離職時等に都道府県ナースセンターへ届け出ることが努力義務化されています。

届出のメリットは?

- ◎都道府県ナースセンターが、離職等の状況に合わせた支援をします。
- ◎ナースセンターから就業等の支援を受けることで、看護職としての切れ目のないキャリアを積むことができます。

届出のタイミングは?

- ◎離職時でも在職中でもご登録が可能です。ご自身の状況に合わせて、忘れず届出登録するようにしましょう。

看護師等の届出制度

届出の方法は?

①右のQRかWebサイトにアクセスしご自身で登録



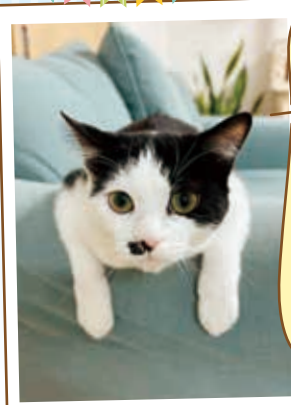
②都道府県ナースセンターで代理登録

- step1. 山形県看護協会 HP へアクセス (下の QR から)
- Step2. 申込用 PDF をダウンロード
- step3. 必要事項を記入
- step4. 郵送または持参

※山形県看護協会HP
看護師等の届出制度
ページへ移行します



わたしの自慢

早く当たり前の日常が
戻りますように。家族で感動！ちょっと早い
クリスマス気分でした☆我が家のアイドルふきぬさんです
活発で常に走り回ってます我が家のイケメンニャンズ。
ですが、もお11才(人間で60才)の
おっさんです。趣味、家族の団らん、
旅の思い出など
会員の皆さんの自慢を紹介しませんか？
コメントを添えて下記へお送りください。

[送信先] Email: info@nurse-yamagata.or.jp



理事会等の開催報告

令和5年12月18日(月) 第6回理事会(Web)

- 審議事項
1. 令和5年度山形県看護協会上半期事業報告……………〈承認〉
 2. 令和5年度山形県看護協会上半期決算並びに監査報告……………〈承認〉
 3. 令和6年度山形県看護協会重点事業(案)について……………〈承認〉
 4. 令和6年度山形県看護協会 職能・常任・特別・認定委員会の目的(案)について……………〈承認〉
 5. 令和6年度山形県看護協会教育計画について……………〈承認〉
 6. 令和6年度山形県看護協会 職能・常任・特別・認定委員会委員の選出について……………〈承認〉
 7. 公益社団法人山形県看護協会職員給与規定の改定(案)及び公益社団法人山形県看護協会訪問看護ステーション職員給与規定の改定(案)について……………〈承認〉
 8. 公益社団法人山形県看護協会役員等の報酬規則の改定(案)について……………〈承認〉
 9. 令和6年度日本看護協会名誉会員候補者の推薦について……………〈承認〉
 10. 令和6年度日本看護協会会長表彰候補者の推薦について……………〈承認〉

令和5年11月～令和6年1月の山形県看護協会事業実施状況

- 令和5年11月 9日(木) 福島県外避難者の心のケア業務における「まちの保健室」
令和5年11月 10日(金) アルカディアソフトパーク山形「まちの保健室」
令和5年11月 16日(木) 山形県看護研究学会
令和5年11月 27日(月) 東南村山地域看護管理者会
令和5年11月 29日(水) 4支部会計担当役員との打合せ会
- 令和5年12月 4日(月) 福島県外避難者の心のケア業務における「まちの保健室」
令和5年12月 12日(火) かんごちゃん米沢市内保育園訪問
令和5年12月 14日(木) 東南村山地域施設等看護管理者ネットワーク会議
令和6年 1月 23日(火) 支部及び委員会に関する会議

インフォメーション

◆教育研修課よりお知らせ

令和6年度より、教育計画冊子を廃止し、タブロイド版「研修一覧」に変更となります。
今後は、研修受講管理システム manaable、当協会ホームページの研修情報と併せてご活用ください。



(山形県かんごちゃん)

山形いぶき第163号

(令和5年11月15日発行)

読者アンケート結果

ご回答ありがとうございました。今後の広報誌作成に活かして参ります。

1. 構成について
- | 項目 | 満足 | 普通 | 不満 |
|------------|-------|-------|------|
| ①内容 | 59.3% | 40.7% | |
| ②文字の大きさ・量 | 63% | 33.3% | 3.7% |
| ③写真・イラストの量 | 74% | 22.2% | 3.7% |
| ④全体のデザイン | 70.3% | 33.3% | |
2. 興味を持った記事(多数順)
- ①わたしの自慢 ②表紙 ③研修 ④専門・認定・特定看護師等の活動報告
⑤支部活動 ⑥協会事業
3. 今後、期待する内容(多数順)
- ①施設紹介 ②専門・認定看護師等情報発信、時短レシピ ③看護技術に関すること
④わたしの自慢 ⑤看護体験に関すること ⑥新春企画：年男男女・看護職親子等紹介等
⑦その他(保健師に関する記事があれば良い)